

【仮置場レイアウト検討用資料 廃棄物種類別の必要面積条件】

本訓練における仮置きが見込まれる廃棄物種類別の廃棄物量及び仮置場必要面積は下記の通りです。

この情報を基に、廃棄物種類別のレイアウト、搬入車両の動線を検討してください。

分別区分	仮置きが見込まれる廃棄物量 (t)	必要面積 (m ²)	目安となるメッシュの数
①燃やすごみ	360	540	21
②燃やさないごみ	360	540	21
③大型ごみ・木質系	630	945	37
④大型ごみ・可燃系	540	810	32
⑤大型ごみ・不燃系	990	540	21
⑥大型ごみ・金属系	990	540	21
⑦廃家電	250	135	5
⑧処理困難物	110	60	2
⑨土砂	1,240	675	27
合計	5,470	4,785	187

＜留意点＞

- ✓ 上記の必要面積には、作業スペース等を含んでいると想定。
- ✓ 積上げ高さを 3m と想定。
⇒ただし、⑦と⑧は平置きと想定。（高さを 0.5m と設定）
- ✓ 出入口の箇所数は指定しない。
- ✓ 余裕があれば資機材の配置についても考慮する。

